

50m IR事例集

本選 選手の入場から準備および試射時間の前

弾丸の発射(安全上問題のないもの)

事例	準備および試射時間の前に弾を撃った。 Jury(名前)により、本射を59発で止めるように指示されている。
適応ルール番号	6.11.1.1h
罰則の付加	本射の初弾を0点とする。

弾丸の発射(安全上問題のあるもの)

事例	準備および試射時間の前に弾を撃った。(危険行為の内容)により、 Juryの多数決をもって失格となった。
適応ルール番号	6.11.1.1h + 6.2.3.5
罰則の付加	失格(レッドカード)

セフティフラッグの未挿入(射座を離れるとき)

事例	射座から離れる際にセフティフラッグが挿入されてなかった。 Jury(名前)から警告を受け、銃にセフティフラッグを入れるように指導された。
適応ルール番号	6.2.2.2.b
罰則の付加	警告(イエローカード)

セフティフラッグの未挿入(警告後の使用拒否)

事例	射座から離れる際にセフティフラッグが挿入されてなかった。 Jury(名前)は、警告を受けた後に6.2.2.2によるセフティフラッグの使用の要請を選手が拒否したことを確認し、 Juryの多数決により失格となった。
適応ルール番号	6.2.2.2.c
罰則の付加	失格(レッドカード)

準備および試射時間中

電子標的の得点表示の不満(表示された得点への不満)

事例	試射<X>発目の得点に不服を訴えた。 Jury(名前)の提案を受け入れ、<N>的に移動した。延長時間は<T>分。
適応ルール番号	6.10.5.a
罰則の付加	特になし

電子標的の得点表示の不満(得点が表示されなかった場合)

事例	試射<X>発目の得点が表示されなかった。 Jury(名前)の提案を受け入れ、<N>的に移動した。延長時間は<T>分。
適応ルール番号	6.10.5.a
罰則の付加	特になし

電子標的の得点表示の不満(検査後、表示が正しいことが確認された場合)

事例	試射<X>発目の得点に不服を訴えたが、後の検査の結果、標的装置は正常に作動していたことが確認された。
適応ルール番号	6.10.5.b + 6.10.5.c
罰則の付加	本射の第1シリーズの最低点から2点の減点。

50m IR事例集

準備および試射時間後から本射前

弾丸の発射(安全上問題のないもの)

事例	準備および試射時間の後、本射前に弾を撃った。
適応ルール番号	6.11.1.1k
罰則の付加	本射の1発目から2点の減点

弾丸の発射(安全上問題のあるもの)

事例	準備および試射時間の後、本射前に弾を撃った。(危険行為の内容)により、 Jury の多数決をもって失格となった。
適応ルール番号	6.2.3.5
罰則の付加	失格(レッドカード)

本射中

超過弾

事例	本射の超過弾
適応ルール番号	6.11.5
罰則の付加	61(～X)発目までを削除。(発数×2)点の減点。

標的外の着弾

事例	<X>発目、標的外の着弾。 Jury (名前)により、<X>発目が0点となり、本射59発で止めるように指示されている。
適応ルール番号	6.11.1.2.b
罰則の付加	<X>発目0点

誤射(撃ち込んだ側)

事例	<X>発目を<N>的に誤射。 Jury (名前)により、<X>発目が0点となり、本射59発で止めるように指示されている。
適応ルール番号	6.11.6.1
罰則の付加	<X>発目0点

誤射(撃ち込まれた側)

事例	<X>発目の射撃を否定。射場役員は<N>射座からの誤射と確認。 Jury (名前)により、本射60発目の後に追加の射撃をすることを指示されている。
適応ルール番号	6.11.6.7
罰則の付加	<X>発目を削除(<N>射座からの誤射)

誤射(撃ち込まれた側から申告の無い場合)

事例	<X>発目の射撃の否定はない。しかし射場役員が<X>発目を撃っていないことを確認。 Jury (名前)により、本射60発目の後に追加の射撃をすることを指示されている。
適応ルール番号	6.11.6.7
罰則の付加	<X>発目を削除。

銃器故障(許容できる故障)

事例	<X>発目を撃った後、許容できる銃器故障。追加時間はなし。追加の試射は認められる。
適応ルール番号	6.13.4
罰則の付加	特になし

50m IR事例集

銃器故障(許容できない故障)

事例	<X> 発目を撃った後、許容できない銃器故障。追加時間はなし。
適応ルール番号	6.13.4
罰則の付加	特になし

1台の電子標的の故障

事例	<X> 発目の後、電子標的の故障。5分以内に修理が完了しないので、ジュリー(名前)により、<N> 射座に移動。延長時間<M>分。本射前の無制限の試射を許可。選手は新しい射座で<60-X> 発撃つように指示されている。
適応ルール番号	6.10.9.2
罰則の付加	特になし

本射弾の弾痕の非表示(次弾は表示)

事例	<X> 発目が非表示の申告。ジュリー(名前)により、もう一発撃つように指示。この弾は表示され、<得点>点、位置(X座標、Y座標)。
適応ルール番号	6.10.9.3
罰則の付加	特になし

本射弾の弾痕の非表示(次弾も非表示)

事例	<X> 発目が非表示の申告。ジュリー(名前)により、もう一発撃つように指示。この弾も表示されなかった。<N> 射座に移動。延長時間<M>分。本射前の無制限の試射を許可。射手は新しい射座で、表示のなかった2発を含め、<61-X> 発撃つように指示されている。
適応ルール番号	6.10.9.4
罰則の付加	特になし

ゴムロールの動きの異常による採点異常

事例	<X> 発目が(非表示/採点が正しくない)と申告。ジュリー(名前)は原因がゴムロールの動きの異常であるとし、<N> 射座に移動。延長時間<M>分。本射前の無制限の試射を許可。射手は新しい射座で<Y> 発撃つように指示されている。
適応ルール番号	6.10.6
罰則の付加	特になし

電子標的の得点に対する抗議

事例	<X> 発目の採点が正しくないと申告。ジュリー(名前)は、競技を続け、60発目の後に追加弾を撃つように指示している。
適応ルール番号	6.16.5.2.a
罰則の付加	特になし

制限時間内に本射弾を撃ち切れなかった場合(DNFではない)

事例	本射時間中に<X> 発しか撃てなかった。
適応ルール番号	6.11.1.2.f
罰則の付加	<X+1> から60発目まで0点。

50m IR事例集

“STOP”後の発射弾

事例	本射時間中に<X>発しか撃てなかった。<X+1>発目は時間外発射。
適応ルール番号	6.11.1.2.f+ 6.11.1.3.a
罰則の付加	<X+1>から60発目まで0点。

DNF (Did Not Finish)

事例	<X>発目の後、選手が棄権を宣言。
適応ルール番号	6.14.4.2
罰則の付加	DNF

DNS (Did Not Start)

事例	本射時間中に競技が開始できなかった。
適応ルール番号	6.14.4.2
罰則の付加	DNS

ファイナル 出頭時刻から選手入場、準備および試射時間前

遅刻(出頭時刻から10分以内)

事例	出頭時刻から10分以内の遅刻
適応ルール番号	6.17.1.3
罰則の付加	本射1発目から2点の減点

欠場または10分以上の遅刻

事例	出頭しなかった／出頭時刻から10分以上の遅刻
適応ルール番号	6.17.1.4
罰則の付加	DNS

弾丸の発射

事例	準備および試射時間前の発射。ジュリーの多数決により、失格。
適応ルール番号	6.17.1.14h
罰則の付加	失格(レッドカード)

セーフティフラッグの抜き取り

事例	準備および試射時間前にセーフティフラッグを抜き取った。ジュリー(名前)により、警告を与えられ、セーフティフラッグを銃に挿入するように指導される。
適応ルール番号	6.17.1.14d
罰則の付加	警告(イエローカード)

空撃ちの実施

事例	準備および試射時間前の空撃ち
適応ルール番号	6.17.1.14e
罰則の付加	1点の減点

50m IR事例集

準備および試射時間後から本射前

弾丸の発射

事例	準備および試射時間後、本射前の発射。
適応ルール番号	6.17.1.14i
罰則の付加	本射1発目から2点の減点

本射中

空撃ちの実施

事例	準備および試射時間後の空撃ち
適応ルール番号	6.17.1.14e
罰則の付加	1点の減点

超過弾

事例	(シリーズ／単発撃ち)の超過弾
適応ルール番号	6.17.1.14k
罰則の付加	超過弾の削除と直前弾からの2点の減点。